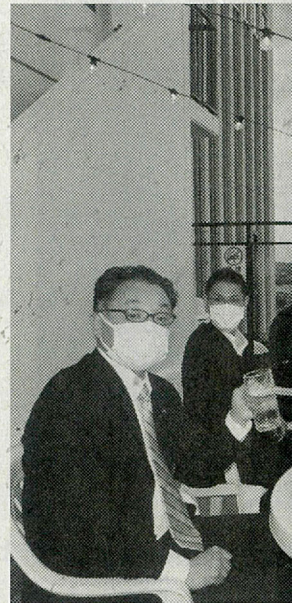


コ回



リバウ

て従業員が注いで提供するほか、料理は客が大皿から取り分ける形式ではなく、あらかじめ小皿に取り分けた状態で提供している。

近鉄百貨店四日市店の呼び掛けている。



協定を締結した福澤社(左)と太田市長

三重県企業で働くアスリート

13

作業用手袋や保冷剤・保温剤の製造を手掛ける三重化学工業(本社松阪市)生産部第三課の田中克尚さんは、自転車競技のスプリントの選手だ。主に、会社に近い松阪競輪場などで練習に励んでいる。岡山県出身。高校時代にJOCジュニアオリンピックカップで優勝した経験を持ち、早稲田大学の自転車部時代は全日本大学対抗選手権のスプリントで5位に入賞してい

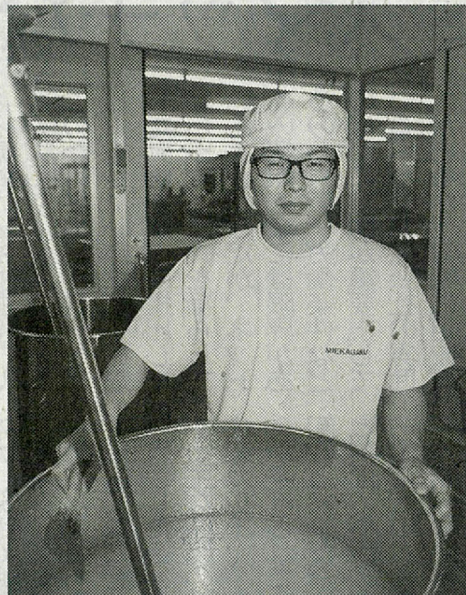
自転車競技

自分のペース守り優勝めざす

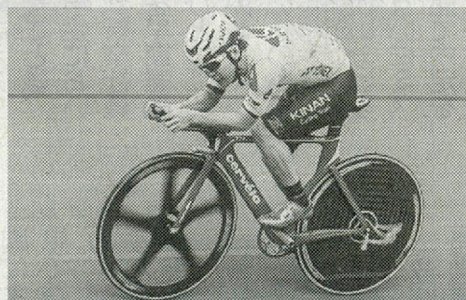
三重化学工業生産部第三課

田中 克尚さん

たなか・かつひさ



会社では、医療用冷却材の原料製造を担当している



競技中の田中さん

会社では新入社員への指導も

020年4月に入社した。田中さんは「アイシングで保冷剤を使っている。その生産に貢献したかった」と同社を選んだ理由を話す。

2020年4月に入社した。田中さんは「アイシングで保冷剤を使っている。その生産に貢献したかった」と同社を選んだ理由を話す。

る。大学卒業後、仕事は、医療用冷却材の原料製造に携わっている。総務

も競技を続けた。いと考え、三重部の井上康人氏は「まっすぐの地形と言われる。予選では、2000位のタイムを競い、上リート就職支援非常に優秀。現場でも大変助位16人がトーナメントに進出事業を通じ、2かっている」と評価する。こする。トーナメントは、1対

いきたい」と強調する。

国体では、個人で3位以内、団体で優勝を目指す。学時代、入賞はしても優勝を経験できていない。とこわか国体では結果を残したい」と意気込む。

での助走でいかにスピードを上げられるかが鍵となる。トーナメントでは、スプリントと瞬発力に加え、対戦相手との駆け引きも重要になってくる。

三重とこわか国体のスプリントは、四日市競輪場で開かれる。「トラック2周で計8000m。短いようで長い。対戦相手のペースにのまらず、自分のペースで勝ち上がって



三重とこわか国体

第76回国民体育大会 ときめいて人がかやいて未来 2021

自著を寄



を連揮り創造で締結彦豊田解決の活用を述べ、福など物し、市早てれば」

【刈谷】西尾 自著

造、土木るダイヤ良町ののほど、校に、白